

山形県内出土の瓦質土器

高桑 弘美

1 研究小史

山形県内で瓦質土器の出土資料が確認され始めるのは、1970年代後半、立川町古楯遺跡・藤島町平形遺跡の発掘調査以降のことである。

1980年代に入り、庄内地方を中心とした発掘調査の増加に伴い、出土資料は増え続けたが、一つの遺跡からの出土は数点に留まり、遺構との関連や詳しい時期について言及されることは無かった。

1989年、藤島町藤島城跡の調査が行われ、15世紀後半から16世紀の多量の遺物が出土した。これらは、山形県内の中世後半の基準資料となる遺物群であるが、それに含まれる瓦質土器の内容も、その数および多様性は特筆すべきものがある。藤島城跡の瓦質土器は、中世後期の広域流通品大和系瓦質土器の分布（近江1997）や瓦質土器の権力装置としての性格を解明する検討資料（水澤1999）として扱われている。

瓦質土器は、在地土器として編年され、年代観が示されている（齋藤ほか1998）。また、大和産瓦質土器と在地産瓦質土器の比較調査も行われている¹⁾。大和産と比較することにより、在地産の瓦質土器の特徴がより明確となり、産地や技術系譜についても検討可能な状態になりつつある。

2 瓦質土器とは

瓦質土器とは、その文字が示す通り、瓦のような質感を持ち、煤けたような色調を特徴とする土器である。

西日本では、火鉢・擂鉢・鍋等の大型品を瓦質土器、碗・皿について瓦器と称されることがあるが、両者には、製作技術の系譜の相違は見られないと考えられている。西日本の瓦器生産についてまとめた菅原正明は「瓦器とは、焼成温度を800～900℃位まで上げ、短期間焼成し、その最終段階に還元焰焼成した軟質の焼物であり、その形態はより上質の容器を写し、さらに器面を須恵器に似せた灰色や金属器に似せた燻し銀色または黒色にしてい

る。」と定義している（菅原1989）。

3 瓦質土器の出土する遺跡とその分布

山形県内で瓦質土器が出土した遺跡は、43遺跡を数える。報告書等で報告されている瓦質土器は、270個体以上に上る。現在、整理が行われている遺跡や未掲載遺物を含めると、300点以上の瓦質土器が出土していることが推定される。

瓦質土器が出土した遺跡は、県内全域に及ぶ。庄内地方が、24遺跡と最も多く、村山地方と置賜地方はほぼ同数で、最上地方が1遺跡と極端に少ない。日本海に面した庄内地方に多いが、最上川を始めとする河川に沿って、遺跡の分布が見られる。

瓦質土器は、藤島城跡や鶴ヶ岡城跡、米沢城跡等の城館跡からまとまって出土し、器種も多様である。中世・近世の遺構が希薄な遺跡からは、擂鉢や鉢類の単体の出土が目立つ。中世・近世の本格的な調査が行なわれている遺跡は、城館跡が中心であることも、その理由と見られるが、遺跡の性格による数的な偏重は顕著である。滝の山廃寺・柳沢A遺跡（伝永慶寺跡）等の寺院においても、まとまって出土し注目される。遺跡の種類と瓦質土器の関係は、越後において明らかにされているが（水澤1999）、山形県においても、支配者階級が主要な受容者であることは、出土状況から説明できる。

4 瓦質土器の器種とその出土状況

瓦質土器には、多様な器種がある。器種分類は、西日本（菅原1989、近江1990・1997、佐藤1996ほか）と東日本（工藤1989・水澤1999）でそれぞれの地域を中心に行われている。山形県の瓦質土器集成にあたっては、報告書掲載器種を示し、当地域が含まれる水澤分類（水澤1999）に従い、表を作成している。

水澤分類風炉I～IV類、円形浅鉢I～IV類、円形小型鉢類は、一定量確認することができる。スタンプに多様なバリエーションが見られる。円形小型鉢III・IV類、仏

具Ⅱ類は、出土数は少ないが確認できる。鶴ヶ岡城跡出土仮具Ⅱ類は、浪岡城跡資料と類似し、産地が同一であると考えられる。一方、北陸では出土例があるものに、山形県内で確認できない器種も多くある。

風炉Ⅳについては、鶴岡市鶴ヶ岡城跡・櫛引町柳沢A遺跡、藤島町藤島城跡、酒田市手藏田10・11遺跡で出土している。鶴ヶ岡城跡・藤島城跡・柳沢A遺跡は、他の風炉や浅鉢も量的なまとまりを見せており、城館跡・寺院跡の瓦質土器出土状況をよく物語る資料である。しかし、手藏田10・11遺跡は、遺構密度が低く、陶磁器等の遺物は青磁碗・瀬戸美濃丸碗等で、他の瓦質土器資料も出土していない。遺跡の再評価が必要である。

城館跡や集落跡には、西川町睦合館跡・大蔵村清水城・新青渡遺跡等のように円形浅鉢や小型円形鉢を単独で持つ遺跡がある。多量に用いるのとは別に、瓦質土器を必要とする生活形態・使用形態がある。その需要から、在地で作られた可能性が高い。

擂鉢の出土点数は、55点を数える。城館跡・寺院跡からの出土点数は少ない。擂鉢は、在地性の強い遺物である。

5 瓦質土器の年代観と画期

県内出土の瓦質土器で、最も古い資料は、酒田市豊原B遺跡の円形浅鉢Ⅰ類と見られる。珠洲甕IV期、陶器碗（中国？）と供伴する。円形浅鉢は、菊花文のスタンプが押され、底部に離砂が見られる。浅鉢は、漆接されており、年代が上がる可能性が残るが、14世紀前半と考えられる。大和産と見られる。藤島町平形遺跡、酒田市大橋遺跡等に出土例がある。

瓦質土器の出土量が急激に増加する時期がある。藤島城跡の栄えた時期で、15世紀中葉～16世紀代である。器種が多様化する時期もある。山形県内の瓦質土器の基本的な器種は、この時期を軸にして年代観が想定できる。

中世社会の崩壊とともに、瓦質土器の器種構成が大きく変化する時期である。17世紀以降である。器種は更に多様となり、行火等の暖房機具の役割が増す。また、中世の瓦質土器とは明らかに異なる、粗雑で砂質感の強い胎土が主流となる。

6 擂鉢の変遷

庄内と内陸地方に分け、I～IV類に分類し擂鉢の変遷を示す（図2）。分類の概要については図中に記す。

I類は珠洲擂鉢の口縁形態に類似し、aからbへの変遷が考えられる。珠洲の焼成不良の可能性が残るが、チヨーク質の胎土と硬質な燻しから、意図的に瓦質に仕上げたものと見る。II・III類は、16世紀に入り一定量出土する資料である。太平洋側にも分布し、伊達氏領国との関係が示されている（高桑2003）。出現は15世紀に遡るとみられる。資料の増加が待たれる。II・III類ともに卸目が太くなる一群・卸目端部に横位直線がある一群がある。II・III類の系譜については検討を要す。

6は、胎土が白色緻密で柔らかく、燻しが強い。外面に縦のナデが認められる。大和産である²⁾。法貴寺出土擂鉢（今尾1990）と比較すると、口縁部の形状はI型B、底部形状はI型Dに類似し、15世紀後半の年代観が想定できる。擂鉢は、大和と隣接地域のみで出土すると考えられていた器種である（佐藤1996）。1点のみの出土であり、商品としての流通とは考えにくい。

珠洲擂鉢の口縁形態および共伴遺物（表1・高桑2003）より、第2図に年代観を示す。

7 まとめにかえて

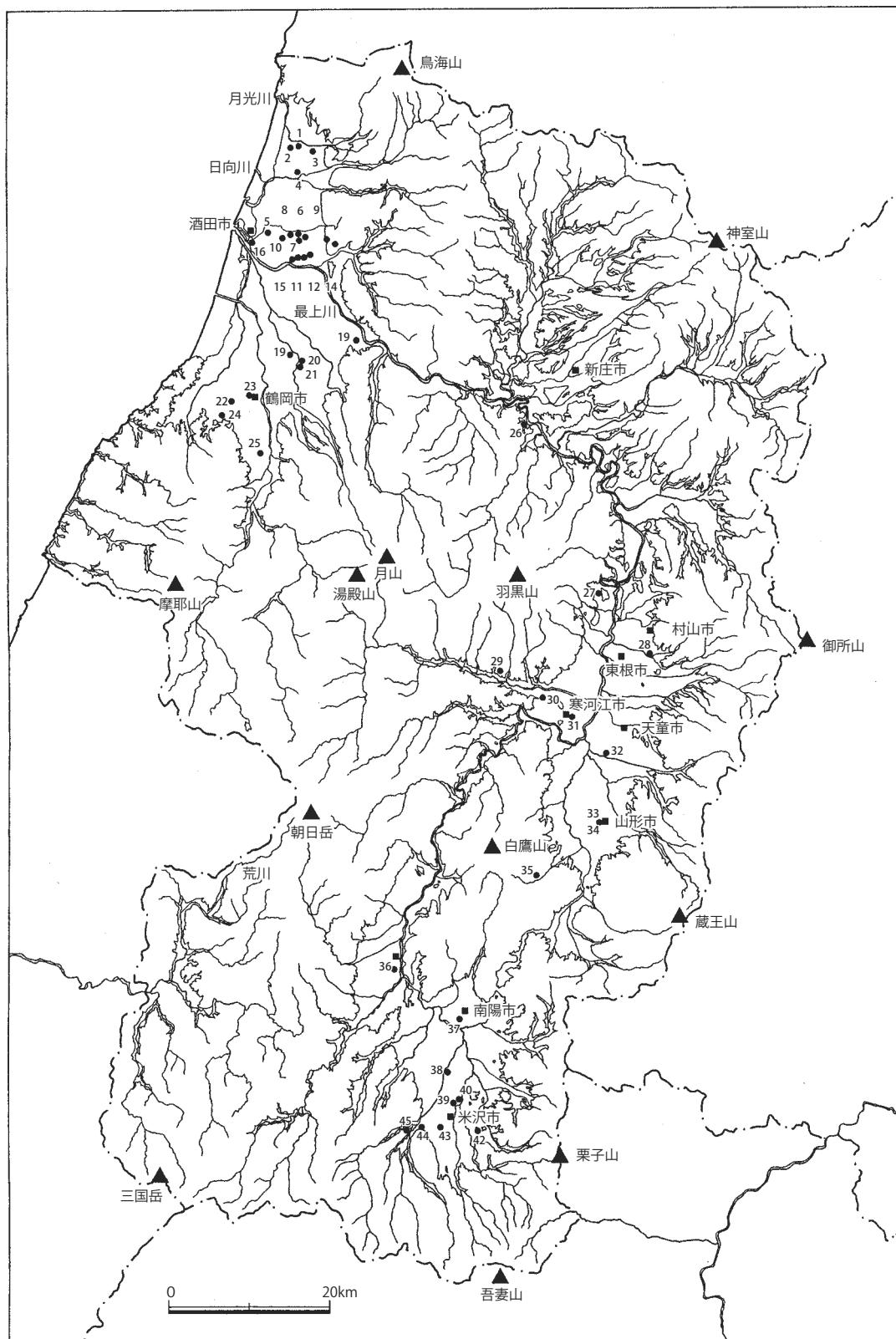
当地域では、大和で瓦質土器が作られた早い段階から瓦質土器の搬入が認められる。さらに、15世紀後半から出土量と器種が急激に増加する状況も大和と連動している。かわらけ同様、地域色を持ち、その一方で広域に画一的な動きが認められる。かわらけと異なるのは、多様な器種の存在である。

以上、山形県内の瓦質土器の集成を行い、概観を述べた。研究が進む瓦質土器の中心的な生産地大和と、消費地との比較検討をするための基礎的作業と位置づけたい。瓦質土器の編年作業は次稿としたい。

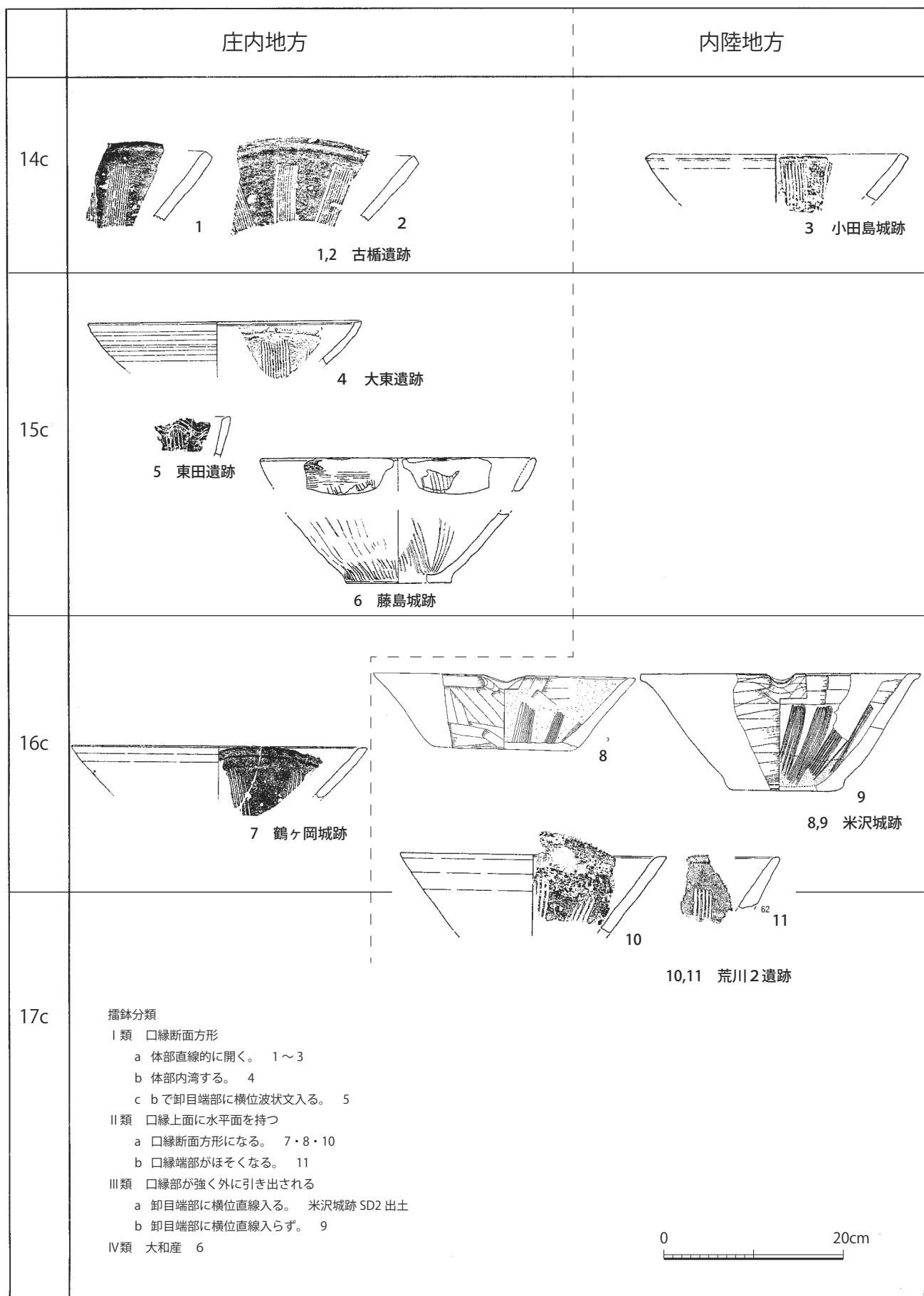
註

1) 1997年、佐藤亜聖氏が藤島城跡出土瓦質土器を実見され、大和産瓦質土器との比較検討を行っている。その時以来、大和産瓦質土器の特徴についてご教示をいただいている。記して、感謝申し上げる。

2) 佐藤亜聖氏・近江俊秀氏のご教示による。口縁部実測図は初出。



第1図 山形県内瓦質土器出土遺跡位置図



第2図 山形県内出土瓦質土器擂鉢変遷図

表1 山形県内出土瓦質土器

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種 (NO)	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献
1 大槻遺跡	遊佐町	屋敷・宗教施設	12世紀中葉～14世紀前・近世	火鉢(27-7) 擂鉢(27-8)	円形浅鉢I 97-62	SD483F2	金属製品鉢	褐灰色 黒	菊花文 近世?	山埋報139 1989
2 東田遺跡	遊佐町	集落	8世紀後半～10世紀初・中世・近世	擂鉢(249)	7-11			黒	卸目5条 目4条	波状卸 珠洲写し 第2図5
3 下餅山遺跡	松山町	集落	中世・近世	擂鉢(9)	SK23	瀬戸内禿皿(大窯3) 白磁皿(D群)・珠洲甕	黒灰色	15世紀後半 卸目10条	山埋報97 1985	
				擂鉢(25)	SK57		赤褐色	卸目6条以上		
				擂鉢(28)	SK146	珠洲甕・唐津皿(17世紀初)	灰色	卸目6条		
				擂鉢(33)	SK146	同上	黒灰色	卸目7条		
				鉢(32)	SK146	同上	黒灰色			
				擂鉢(43)	SK163			卸目6条		
4 浮橋遺跡	遊佐町	集落	9～10世紀 中葉・中世	不明	不明					山埋報141 1989
5 大多遺跡	酒田市	散布地	鎌倉時代～近世	不明	不明	表採				山埋報148 1990
6 豊原遺跡	酒田市	集落	9世紀・15～17世紀	擂鉢(52)	SK74	赤焼土器・金属製品・木製品	灰褐色	珠洲	山埋報66 1983	
7 豊原B遺跡	酒田市	集落	8世紀末～10世紀初・中世	火鉢(58・59)	円形浅鉢I	SK27	珠洲甕(IV期)・陶器碗(中国?)	13世紀後半 つぎ58と59	漆	山埋報55 1982 は同一と判断
8 新田目城跡	酒田市	官衙関連・城館?	9世紀・15～16世紀	不明	不明			瓦質陶・瓦器・瓦質陶器詳細不明	瓦	酒田市教育委員会1983『新田目城跡—予備調査の概要』
9 閔B遺跡	酒田市	集落・墓域?	古墳前期・8世紀後半～10世紀前・13～14世紀	擂鉢(45)	SD47F		黒灰色	珠洲年代疑問 目7以上	卸	山埋報68 1983
10 新青渡遺跡	酒田市	集落	平安時代・中世・近世	碗(38)	円形小型鉢 I c	25～27-18- I	黒色	香炉	スタンプ2	山埋報67 1983
11 手蔵田遺跡	酒田市	集落	9世紀中～10世紀中・13世紀・近世	擂鉢(11)	SK38	土師器碗 土器甕・高台付 环	あかや 内面灰 白	外側黒		山埋報98 1986
12 手蔵田10・11遺跡	酒田市	集落	9世紀末～10世紀初・13世紀前半～江戸後期	香炉?(38-18) 風炉IV?	3-17- II			蓮弁文・雷文		山埋報124 1988
13 梶掛遺跡	八幡町	集落	縄文時代・奈良時代・平安時代・中世・近世	鉢(11)	x II・ B-302・III a		素地明灰 外側黒 灰			山埋報52 1982
14 大槻新田遺跡	酒田市	集落	9世紀・13～16世紀	不明(38)	不明	包含層				山埋報129 1988
15 熊野田遺跡	酒田市	集落	9世紀後葉～10世紀前半・中世・近世	不明(17)	不明	E-5 トレンチ		スタンプ	近世?	山埋報137 1989
16 亀ヶ崎城跡	酒田市	城館	16～19世紀	手焙(87)	33-22-F 1		黒	近世		山埋報169 1991
				七厘(171)	16-27		灰赤			山埋セン報17 1994
				七厘(172)	28-30 IV		灰赤			
				焙烙(173)	30-29 IV		褐			
				こんろ(174)	32-32 IV		灰赤			
				行火(89)	53-8 II		灰白	方形		山埋セン報28 1995
				風炉(90)	長方形浅鉢 I 中央トレ ンチ		黒灰			
				焜炉(91)	53-7 II		黒茶灰	スタンプ	近世?	
17 山楯櫛跡	平田町	城館	縄文時代・奈良時代・15世紀後半～16世紀	風炉(59-7)	風炉I～IV	C 7 SK152 (370?)		黄灰	唐草文?	山埋報172 1992
					方形火鉢(59-8)	長方形浅鉢 B 3 I	赤褐	スタンプ摩滅で不 明		
18 古櫛遺跡	立川町	集落	縄文時代・奈良時代・平安時代・中世・近世	擂鉢(41-12)			黒灰	卸目13条		山埋報6 1976
				擂鉢(41-13)			黒灰	卸目11条		第2図1
19 平形遺跡	藤島町	集落	奈良時代・平安時代・中世・近世	鉢形土器	不明	不明	灰褐			山埋報6 1976
				鉢形土器	円形浅鉢I	不明		菊花文		
				鉢形土器	円形浅鉢I	不明		菊花文		

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種 (NO)	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献
20 藤島城跡	藤島町	城館	奈良時代・平安時代・中世・近世	風炉 (25-8) 風炉 (25-14) 風炉 (25-2) 風炉 (25-7) 火鉢 (25-18) 香炉 (25-10)	風炉 SP31 (SK31 ?) SK380 SK386 SE8 I SP23 I c	信楽壺 信楽壺 かわらけ 珠洲甕 (III期)・青 はIV 長方形浅鉢 I 珠洲壺 (IV期)	信楽壺 暗灰 青黒 菱形文 珠洲甕 (III期)・青 黒 磁蓮弁文碗 (B 4 類)・青磁盤・漆器・ 箸・元豊通宝・嘉 泰通宝ほか多数	にぶい橙 蓮弁文・花菱文 菱形文 暗灰 青 かわらけ・珠洲甕・暗灰 白磁皿 (D群)・青 磁蓮弁文碗 (B 4 類)・青磁盤・漆器・ 箸・元豊通宝・嘉 泰通宝ほか多数	にぶい橙 唐草文	山埋報 159 1990
				擂鉢 (25-12) 風炉 II	SP151 SD9			暗灰	粗い卸目第2図6	
				風炉 (25-4)	風炉 II	SD9	珠洲甕 (IV期)・珠 洲擂鉢 (V期)・青 磁蓮弁文碗 (B 4 類)・青磁稜花皿・ 染付碗 (B群)・白 磁皿 (D群) ほか 多数	灰	花文	
				風炉 (25-6)	風炉 IV	SD9	同上	赤橙	雷文・蓮弁文	
				火鉢 (25-16)	円形浅鉢 III	SD9	同上	灰	花菱文	
				火鉢 (25-20)	長方形浅鉢 I	SD148		灰		
				火鉢 (25-13)	風炉 VI	SD320		暗灰		
				香炉 (25-9)	円形小型鉢 I c	3-7		にぶい橙	花文	
				火鉢 (25-15)	円形浅鉢 III	5-4-IV		花菱文		
				風炉 (25-1)	風炉 II	6-6-IV		黒	唐草文	
				風炉 (25-3)	風炉 II	8-6-IV		赤橙	花文	
				不明 (25-11)		8-3		淡黄	渦巻文	
				火鉢 (25-17)	長方形浅鉢 I	9-9		黒	雷文	
				風炉 (25-5)	風炉 IV	11-7		灰	連子文	
				火鉢 (25-19)	深鉢 I	12-7-IV		にぶい橙		
				火鉢 (25-21)	円形浅鉢?	16-5		暗灰		
				風炉 (15)	風炉 I ~ IV			黒灰	連子文	山埋報 160 1990
				深鉢形火鉢 (16)	円形小型 鉢?			黒灰	花文	
				碗 (10-13)		SD2	珠洲壺 (III・IV期)・黒 珠洲甕 (I期)・越 前壺・瀬戸瓶子 (後 II期)・瀬戸皿 (大 窯 I)・瀬戸碗・染 付碗 (B群)・白磁 皿 (D群)・漆器ほ か多数	N2/1	手づくねかわらけ 黒色焼しあり	山埋報 181 1992
				火鉢 (10-16)	長方形浅鉢 I	SD2	同上	にぶい 橙 2.5 YR6/4		
				風炉 (10-15)	風炉 IV	SK10		浅黄橙 7.5YR8/4		
				火鉢 (10-17)	円形浅鉢?	SK10		にぶい橙 5YR 7/3		
				植木鉢 (10-20)		SK10		黒 N2		
				火鉢 (10-14)	長方形浅鉢 I	SE35	珠洲甕 (IV期)・染 付皿 (B 1群)・砥 石	灰黄褐 10YR6/2		
				植木鉢 (10-21)		SE35	珠洲甕 (IV期)・染 付皿 (B 1群)・砥 石	黒 N2		
				風炉 (10-19)	風炉 I また は II	SD4	瀬戸天目茶碗 (後 IV古期)	赤橙 10R6/6	菱形花文 口縁外 に引き出す	
				火鉢 (10-18)	円形浅鉢?	2-6		赤橙 10R6/6	菱形文	
				火鉢 (8-8)	円形小型鉢 II?	SK18	越前擂鉢	暗灰 N3	花文	山埋報 193 1993
				擂鉢 (8-15)		SK21	越前壺	灰 N5		
				風炉 (8-11)	風炉 I また は IV	SE2	珠洲甕 (IV期)・青 磁稜花皿・瀬戸端 反皿 (大窯 1)・白 磁皿 (E群)・染付 皿 (B 1群)	暗灰 N3	連子文	

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種 (NO)	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献
				風炉 (8-7)	円形浅鉢?	SD1	越前壺・越前搗鉢・淡橙 瀬戸碗(大窯3・ 4)・瀬戸丸皿(大 窯1)・青磁花皿・ 白磁皿(1群)・染 付皿(B1群)・肥 前磁器皿ほか多量	5YR8/4		
				火鉢 (8-9)	円形小型鉢 I c?	SD1	同上	浅黄橙 7.5Y8/3	花文	
				火鉢 (8-10)	円形小型鉢 I c	SD1	同上	淡橙 5YR8/4	唐草文	
				風炉 (8-13)	風炉 I また はII	SD1	同上	橙 2.5YR7/6	菱形文	
				搗鉢 (8-14)		SD1	同上	灰 5YR6/1		
				火鉢 (8-6)	長方形浅鉢 I	SD1	同上	灰白 10YR8/2		
				風炉 (8-12)	風炉IV	4-7		橙 2.5YR7/6	連子文・蓮弁文・ 花文	
				風炉 (8-47)	風炉	SX125F2		灰 HveN-6		山埋セン報 18 1994
				摺鉢 (8-48)	摺鉢	SD1F4		灰白 Hve5Y-8		
				風炉猫足 (9-99)	風炉IV?	不明		淡橙 Hve5YR-8		
21 藤島D遺跡	藤島町	集落	14~20世紀	焰烙 (29-120)		SX107-F	陶器壺・陶器壺 瀬戸磁器壺・瀬戸 磁器小皿・瀬戸磁 器レンゲ・肥前磁 器碗・肥前磁器皿・ 石製品硯	胎土褐	近世19世紀以降	山埋セン報 82 2001
				焰烙 (29-121)		SX107-F	同上	胎土灰褐		
				焰烙 (29-122)		SX107-F	同上	胎土灰褐		
				風口 (30-126)		SX107-F	同上	胎土灰褐		
				手あぶり (30-129)		SX107-F	同上	胎土灰茶		
				炭甕 (30-132)		SX107-F	同上	胎土灰茶		
				炭甕蓋 (30-134)		SX107-F	同上	胎土灰		
				コンロ (29-123)		SX76-F2	大宝寺陶器筆筒・ 陶器人形・備前搗 鉢・肥前磁器皿・ 肥前磁器蓋・肥前 磁器仏飯具・瀬戸 陶器徳利・瀬戸磁 器水滴・寛永通宝 ほか	胎土灰褐	20世紀以降	
				コンロ (29-124)		SX76-F1	同上	胎土褐		
				七輪 (30-127)		SX76-F	同上	胎土褐		
				炭甕蓋 (31-135)		SK61-F		胎土褐		
				炭甕蓋 (31-136)		SK61-F		胎土赤褐		
				コンロ (30-125)	B8- III		胎土褐			
				手あぶり (30-128)		SK94-F	肥前陶器皿・肥前 磁器碗・肥前磁器 皿・肥前磁器蓋・ 瀬戸磁器碗・瀬戸 磁器壺・瀬戸磁器 徳利・瀬戸陶器壺・ 陶器搗鉢・陶器玩 具・磁器玩	胎土灰茶	近世19世紀以降	
				手あぶりの獸足 (30-133)		SD77-F	肥前磁器碗	胎土灰茶		
				火鉢 (30-130)		B-10F		胎土灰茶		
				炭甕 (30-131)		B8- III		胎土茶		
				摺鉢 (31-137)		A区包含層		胎土赤褐	近世陶器	
				火鉢 (42-71)		C区包含層		胎土茶		
				コンロ (42-72)		C区包含層		胎土灰茶		
22 後田遺跡	鶴岡市	集落	古墳時代・平 安時代・中世・ 近世	火鉢 (167)		SD3	須恵器・土師器・ 青磁・珠洲・かわ らけ・肥前磁器・ 唐津・笛塔婆ほか 多數		藤島Dに類似形 態あり 近世	山埋セン報 49 1997
23 鶴ヶ岡城跡	鶴岡市	城館	古墳時代・平 安時代・中世・ 近世	方形火鉢 (35)	長方形浅鉢	D-SK9 I	珠洲搗鉢・越前甕・ 青磁皿・染付鉢(近 世)	10Y2/ 1	唐草文?	鶴岡市埋報 10 2000
				方形火鉢 (38)	長方形浅鉢	C-SK269 I	砥石	5Y2/1 黒	唐草文	鶴岡市埋報 14 2001

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献
				(NO)						
				火鉢 (36)	円形小型鉢 III	C-SK93F4	F 4かわらけ・砥 石 (天草産)・青磁 盤 F 7かわらけ F 8珠洲甕 (IV期)・ 越前・青磁壺	7.5YR7/1 1明褐	蓮子文・唐草文 15世紀?	
				浅鉢 (711)	長方形浅鉢 I	23 トレ SK533-F		赤褐	雲文	
				擂鉢 (720)		SK171		黒		
				花瓶 (714)	仏具 II	SD1-F1	染付碗 (B群)・志 野皿 (大窓4)・肥 前磁器碗 (17世紀 後半～18世紀初)・ 肥前磁器皿 (18世 紀2/4～3/4) ほ か	黒	716 同一	山埋セン報99 2002
				擂鉢 (717)		SD1-F3 S32-W19		黒		
				擂鉢 (722)		8 トレ SD1-F3		黒灰		
						S24-W27				
				擂鉢 (726)		SD1-F4 S31-W24		黒	卸目 5条以上	
				風炉 (703)	長方形浅鉢 I	SD3-F1 S36-W16		褐灰	雷文	
				擂鉢 (728)		SD3 S32-W19		黒	卸目 5条以上	
				香炉 (713)	円形小型鉢 I a	SD101		黒	雲文	
				擂鉢 (719)		SD16F1		黒	卸目 5条以上 第2図7	
				風炉 (706)	風炉IV	12 トレ SD523-F	珠洲甕	赤褐	花菱文	
				擂鉢 (723)		8 トレ SD186-F	信楽壺・珠洲甕	黒	卸目 4条以上	
				風炉 (700)	風炉 I～IV	23 トレ SP537-F		赤褐	花文	
				風炉 (702)	円形小型浅鉢 II	21 トレ SP202-F		赤褐		
				風炉 (701)	風炉 I～IV	26 トレ SX388-F		赤褐		
				風炉	風炉 II また は円形浅鉢 堀 III				15～16世紀第1 四半期 (報告書)	
				浅鉢 (708)	円形小型鉢 I a	SF2-F3 S25-W19		褐	花文? 709 同一 個体	
				火鉢 (37)	円形浅鉢III	Tr5・3面		N 5灰	花菱文	
				風炉 (698)	風炉 I～IV	II		黒灰	唐草文	
				風炉 (699)	風炉 I～IV	23 トレ F7		赤褐	唐草文	
				風炉 (704)	風炉 I～IV	II		赤灰	四葉 (丸に花菱) 文	
				深鉢 (705)	深鉢 I b	7 トレ		黒灰		
				浅鉢 (707)	長方形浅鉢 I	23 トレ F7b～7d		黒	雲文	
				浅鉢 (709)	円形小型鉢 I a	25 トレ II		褐	花文?	
				浅鉢 (710)		5 トレ I		赤彩	雷文 近世 内面 漆	
				花瓶 (716)	仏具 II	II b S31-W37		黒	雷文・巴文・半花 菱形	
				擂鉢 (718)		S34-W18		黒	卸目 5条	
				擂鉢 (721)		III a W32-W38		茶灰	卸目 5条	
				擂鉢 (724)		18 トレ		黒	卸目 2条以上	
				擂鉢 (727)		S24-W22		淡褐	卸目 7条以上	
				擂鉢 (729)				黒	卸目 5条以上	
				擂鉢 (730)		25 トレ III		黒灰	卸目 4条以上 外 面ハケ	
				擂鉢 (731)		II S29-W32		黒灰	卸目 7条以上	
				擂鉢 (732)		14 トレ		黒	卸目 5条以上	
				浅鉢 (712)		X-O		黒灰	胎土近世	
				香炉 (715)	円形小型鉢 I b	X-O		褐	雷文・巴文 浪岡 城に出土例	
				擂鉢 (725)		X-O		褐	近世	
24 大東遺跡	鶴岡市	集落	平安時代・13 ～16世紀	アンカ (58)	円形浅鉢?	SK475	陶器擂鉢・陶器甕		底部のみ遺存	山埋報 153 1990
				擂鉢 (150)		X-O			卸目 10条 第2図 4	

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種 (NO)	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献
25 柳沢 A 遺跡	櫛引町	集落・寺院	旧石器時代・縄文時代・14世紀中葉～15世紀中葉・近世	風炉 (15-1) 風炉 (15-2) 火鉢 (15-3) 火鉢 (15-4) 火鉢 (15-5) 火鉢 (16-6) 火鉢 (16-7) 火鉢 (16-8) 火鉢 (16-9) 火鉢 (16-10) 火鉢 (16-11) 火鉢 (16-12)	B3、C3、 石組み遺構 2層 C4、D 3、 D 4 D 4 内ピット A4、A 6、 B 6、B 8、 C 6、D 6 B 8 内 ピット A 7、B 7、 C 6 A 4、C 3、 C 5、D 3、 D 4 D 3 内ピット F 1 C 6 3層 上面 D 4 2層 上面 C 5 ピット B 6、B 7、 C 6、D 6 2層、 3層上面 B 4、D 6 K 1 溝	15世紀 (報)	簾状文 慶寺跡発掘調査報告書—柳沢 A 遺跡第3調査区の発掘調査—』			
26 清水城跡	大蔵村	城館	15世紀後半～17世紀前半	火鉢	円形浅鉢IV または長方形浅鉢I	不明		内面黒色化	15世紀 (報)	唐草文 大蔵村文報1 2001
27 白鳥館跡	村山市	城館	13世紀～18世紀	甕 (27) 甕 (28)	西側包含層	F-19G	赤褐 赤褐	近世?実見 できず	山埋セン報85 2001	
28 小田島城跡	東根市	集落・城館	縄文時代・弥生時代・平安時代・12～18世紀	風炉 火鉢 火鉢 捕鉢	風炉II 円形浅鉢III 円形浅鉢III 黒灰				財団法人山形県埋蔵文化財センター 1999『小田島城跡調査説明資料』	
29 瞑合館跡	西川町	城館	16～17世紀	火鉢? (53-15) 中葉	円形小型鉢 I a	SP176F	亀甲文	山埋セン報63 1999		
30 富沢 I 遺跡	寒河江市	集落	縄文時代・弥生時代・古墳時代・平安時代・中世・近世	鉢 (33)	SG 1 F 3		内面黒色化処理	時期不明	山埋セン報30 1996	
31 寒河江城跡	寒河江市	城館	9世紀初・14世紀末～17世紀	風炉? (23) 火鉢? (22)	円形浅鉢 IV? SD-2	瀬戸美濃 (唐津?) 皿・碗 永楽通宝 石鉢 同上	黒灰色 黒	菱形文 暗青灰 5BG4/1	寒河江市埋報4 1986	
32 永源寺跡遺跡	天童市	集落・寺院	8世紀～近世	擂鉢 (376)	SE1196	蓋器系陶器甕・近世陶器甕	暗青灰 5BG4/1		山埋セン報86 2001	
33 山形城(双葉町)山形市			縄文時代・古墳時代・平安時代・中世・近世							
34 城南一丁目遺跡	山形市	集落・城館	縄文時代・古墳時代・平安時代・中世・近世	壺 (1125) 鉢 (1122) 擣鉢 (1107) 火鉢 (282) 擣鉢 (290) 火鉢 (1108) 焰焰 (1127) 火鉢 (1123) 火鉢 (285) 擣鉢 (1106) 擣鉢 (291)	SK115 SK115SK SK1178 SK145・ SE55 SK190 SK214 SK37 SK38 SK474 SK51 SK866	黒 黒 黒 灰 黒茶 淡褐 黒 黒 褐 黒灰褐 黒茶	大型 卸目 6 条以上 卸目 6 条以上 卸目 6 条以上 足鍋 黒 雷文 雷文 黒 雷文 黒 器種不明 ハケ明瞭	肩部のみ 1999	山埋セン報69	

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献	
				焙烙 (1124)		SK909	かわらけ・唐津鉄 釉花瓶・唐津播鉢・ 肥前磁器碗・瓦・ 砥石・円盤状石製 品・永楽通宝・石 籠	褐灰	17世紀前半		
				壺 (1121)		SK941	須恵器・かわらけ・黒 珠洲甕・瀬戸美濃 折縁皿(大窯3)・ 志野菊皿(大窯4 未)・瀬戸美濃天目 茶碗(大窯4)・唐 津香茶碗・染付碗(E 群)・染付角皿(K 群)・瓦・円盤状石 製品	黒			
				火鉢 (284)	不明	SP307		灰	花菱文・唐草文・ 雷文		
				壺 (1109)		SE613	坩堝・茶白上白	褐灰			
				火鉢 (283)		SD269		黒	菱文 近世		
				火鉢 (286)	不明	SD555	須恵器・かわらけ・灰 砥石・石鉢・永楽 通宝	灰	亀甲文		
				摺鉢 (289)		SD9	須恵器・かわらけ・淡褐 砥石・青白磁合子 蓋・白磁皿・肥前 磁器碗・坩堝・石鉢・ 寛永通宝	淡褐	卸目6条		
				火鉢 (287)		F- 5		黒	亀甲文 近世?		
				鍋 (288)				黒灰	厚切り蒲鉾状把手 横張り付け 丁寧 なミガキ		
35 滝の山廃寺	山形市	寺院	中世	火鉢 (18)				円文		茨木光裕 1993	
				火鉢 (19)				雷文			
				火鉢 (20)				花文			
36 小山遺跡	長井市	集落	縄文時代・奈 良時代・平安 時代・15~ 16世紀・近 世	摺鉢 (166)		II			卸目太5条	山埋セン報 104 2002	
37 沢田遺跡	南陽市	集落	弥生時代~平 安時代・中世・ 近世	摺鉢 (30-7)		32-43- II			卸目太4条	山埋報 88 1985	
38 荒川2遺跡	米沢市	集落・城 館	縄文・奈良時 代・平安時代・ 中世・近世	すり鉢 (49-62)		SD308	内耳土鍋・かわら け・瓷器陶器甕・ 須恵器系陶器甕・ 戸長里皿・戸長里 匣鉢・瀬戸美濃皿 (大窯3)・瀬戸美 濃折縁皿(大窯3 後・4前)・瀬戸 美濃内禿皿(大窯 3後)・瀬戸美濃丸 皿(大窯3後)・志 野丸皿(大窯4後・ 登窯1・2小期)・ 唐津皿・青磁碗・ 染付皿・寛永通宝・ 石臼・漆器碗ほか	7.5Y4/ 1 灰色	第2図 11		山埋セン報 43 1997
				火鉢 (49-60)		SD308	同上	N3/1 暗灰 近世 色			
				すり鉢 (49-64)		SE701	石臼・漆器碗	7.5Y6/1 灰色			
				すり鉢 (49-61)		SE707	内耳土鍋	5Y 3 / 1 オリ - ブ 黒色	第2図 10		
				すり鉢 (49-63)		SD544	瓷器陶器甕・染付 皿(E群)	10YR8/ 3浅黄橙 色			
39 大浦C遺跡	米沢市	官衙関 連・集落	奈良時代・平 安時代・中世・ 近世	不明	不明	不明				米沢市埋報 71 2000	
40 北小屋敷遺跡	米沢市	墳墓・集 落・城館	古墳時代・15 ~ 18世紀	摺鉢 (25-10) 鉢 (25-4)		SK22F1 SD6F 2	青磁盤・肥前磁器 小碗・肥前磁器皿・ 陶器碗・陶器德利・ 陶器戸車・砥石		卸目太3条以上	山埋セン報 103 2002	
									近代混入 瓦質土 器は近世?		

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種 (NO)	水澤分類	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献	
41 米沢城跡	米沢市	城館	16～19世紀	風炉 (11-5)	風炉?	SK1	かわらけ・焼塙壺・褐色 焰焰・陶器皿		山埋セン報 66 1999		
				蓋 (11-23)	その他	SK44	焰焰・瓷器系陶器 擂鉢・磁器皿 (肥 前)・天目茶碗 (瀬 戸美濃大窯 2)	赤褐色			
				鉢 (11-25)		SK44	同上	灰褐色			
				焰焰 (11-36)		SK44・ SP40	焰焰・瓷器系陶器 擂鉢・磁器皿 (肥 前)・天目茶碗 (瀬 戸美濃大窯 2) 磁 器碗 (中国)・灰釉 端反皿 (瀬戸美濃 大窯 1)	赤褐色			
				擂鉢 (11-32)		SK55	瓷器系陶器擂鉢・ 志野菊皿 (瀬戸美 濃大窯 4)	赤褐色	横方向卸目 16 世紀末		
				火鉢 (26)		SD1F1 (88-84)・ SD1F2 (88-88)	F1 明治の遺物多数 F2 同上	7.5YR7/4 にぶい橙 色			
				片口鉢 (198)		SD1F 4 (82-72)	同上	5YR4/4 にぶい赤 褐色	16世紀末?		
				火鉢 (199)		SD1F 4 (88-68)	同上	2.5Y5/1 黄灰色	山埋セン報 89 2001		
				擂鉢 (197)		SD1F 4 (90-62)	同上	7.5YR7/2 明灰褐色			
				擂鉢 (196)		SD1F 4 床 面 (82-58)	肥前磁器・岸・土 馬・会津本郷・土 師質土器皿・木製 品ほか多数 17世 紀初頭～18世紀前 半中心 白磁皿 (E 群)・瀬戸美濃 (大 窯 4)・内耳土鍋等 混入	10YR7/1 白灰色	16世紀末?		
				鉢 (10-2)		SD2	磁器皿 (景德鎮)・ 碗 (景德鎮)	灰褐色			
				火鉢 (25)		SD2F 2 (100-68)	同上	10YR 5 /2 灰黄褐色			
				擂鉢 (24)		SD2F 2 (92-76)	肥前磁器・大堀相 馬・会津本郷・土 師質土器皿・木製 品ほか多数 18世 紀後半～19世紀前 半	2.5Y4/1 黄灰 色			
				火鉢 (10-11)	円形浅鉢	SD3	かわらけ・坩堝・ 内耳鍋・陶器擂鉢・ 志野向付 (瀬戸美 濃大窯 4)・磁器碗・ 磁器皿	暗褐色	16世紀末		
				擂鉢 (10-1)		SD2	磁器皿 (景德鎮)・ 碗 (景德鎮)	灰白色	卸目太 4 条		
				火鉢 (12-4)		SX34	坩堝・陶器碗 (鼠 志野?)・唐津鉢 (16 世紀末)・陶器茶入・ 陶器土瓶 (相馬?)・ 越前擂鉢・成島小 甕・成島鉢・成島甕・ 陶器風炉?・陶器 鉢・信楽壺 (16世 紀後半)・土人形ほ か	赤褐色	成島 18世紀後半		
				火鉢 (12-5)		SX34	同上	褐色	同上		
				火鉢? (12-31)	C 区			赤褐色	近世		
				手焙 (27-1)	円形浅鉢	不明		暗灰褐色	亀甲文 近世?	米沢市埋報 44 1994	
				手焙 (27-2)	円形浅鉢	不明		同上	花弁文 近世?		
				手焙 (27-3)	円形浅鉢	不明		同上	無文 近世?		
				手焙 (28-6)	円形浅鉢	不明		同上	花弁文 近世?		
				手焙 (28-7)	円形浅鉢	不明		同上	花弁文 近世?		
				擂鉢		不明			卸目太 5 条		
				手焙 (172)		DN2	砥石・硯		近世?	米沢市埋報 68 2000	
				大型漆塗壺型土 器 (183)		DY63	須恵器・甕越前甕		近世?		
				擂鉢 (144)		DY80	須恵器甕				
				手焙 (173)		DY82F	須恵器壺・木製品		近世?		
				擂鉢 (142)		DY89					
				手焙 (174)		G50-94			近世?		

遺跡名	市町村	性格	主な時期	報告書掲載器種	水澤分類 (NO)	出土地点	共伴遺物	色調	備考	文献	
				筒形土器 (176)	G50-94			近世			
				大型壺形土器 (182)	G54-54			近世?			
				摺鉢 (143)	G54-58						
				壺形土器 (180)	G58-22			近世?			
				筒形土器 (181)	G62-90			近世?			
				摺鉢 (145)	G70-58			第2図8			
				土風呂 (171)	G70-78			近世?			
				土風呂 (170)	G70-82			近世?			
				摺鉢 (140)	G70-86						
				手焙の足? (169)	KY11-3	須恵器甕・瓷器系 陶器甕壺・岸小皿・ 瀬戸美濃端反皿(大 窯1)・瀬戸美濃丸 皿(大窯1)・肥前 磁器碗・染付皿(B1 群)・肥前青磁鉢・ かわらけ・柄杓・ とりべ					
				浅鉢形手焙 (186)	KY11-7	同上		近世			
				手焙 (185)	KY19-1	須恵器甕・瀬戸美 濃皿(大窯1・2)・ 漆器碗・下駄・箸・ 招聖元宝・硯		近世?			
				摺鉢 (146)	KY19-10	同上					
				小形皿 (177)	KY19-10	同上					
				摺鉢 (141)	KY26	須恵器甕・染付皿(C 群)・染付碗(E群)・ かわらけ・漆器碗・ 曲物					
				壺形土器 (178) その他	KY33	土師器甕・須恵器 甕・下駄・内耳土鍋・ 土器・漆器皿・木 製品櫛・木製品箸					
				摺鉢 (147)	KY33F	同上		第2図9			
				手焙 (175)	KY34	かわらけ		近世?			
				筒形土器 (179)	KY34	かわらけ		近世?			
				七厘 (184)	KY37			近世?			
				火鉢(七厘) (187)	KY5	とりべ		近世			
				摺鉢 (139)	KY8-2	須恵器壺・須恵器 甕・近世陶器皿・ 肥前磁器碗・かわ らけ・とりべ・硯・ 箸・板状木製品・ 下駄		近世			
				黒色壺 (168) その他	KY8-2	同上		近世			
				黒色壺 (167) その他	NN2						
42 稲荷山館跡	米沢市	城館	15世紀	摺鉢 (13) ~ (29) 17点					米沢市埋報 54 1997		
				不明 (47) ~ (50) 3点							
43 覚範寺廃寺跡	米沢市	寺院	縄文時代・中世・近世	手焙り (6-2) 不明	A 地点		連子文	近世?	米沢市埋報 26 1989		
				手焙り (6-3) 不明	A 地点		雷文	近世?			
				手焙り (6-6)							
44 館山北館跡	米沢市	城館	縄文時代・15~16世紀	摺鉢 (86-4)	DN 3				米沢市埋報 79 2002		
				摺鉢 (87-3)	TY587						
				香炉 (86-6)	円形小型鉢 不明						

1 水澤分類は、水澤 1999 による。

2 色調は、部位の記載なないものは外縁の色調を示す。報告書掲載内容を記載しているが、実見したものは一部修正している。

3 文献の、山埋報○は山形県埋蔵文化財調査報告書○集、山埋セン○は山形県埋蔵文化財センター調査報告書○集を示す。市町村についても同様に略記する。

4 術の数字は、刊行年を示す。

引用文献

- 飯村 均 1997 「中世食器の地域性 2—東北南部」『国立歴史民俗博物館研究報告』第71集
- 茨木光裕 1993 「白鷹丘陵の宗教遺跡—滝の山廃寺跡を中心として—」『野に生きる考古・歴史と教育』川崎利夫先生還暦記念会
- 今尾文昭 1990 「大和・中世村落における瓦質土器—奈良県日原本町法貴寺遺跡出土資料—」『中近世土器の基礎研究』VI
- 近江俊秀 1997 「広域に流通した中世大和の土器—大和産・大和系瓦質土器の分布について—」『中近世土器の基礎研究』XII
- 工藤清泰 1989 「浪岡城出土の瓦質土器とその考察」『浪岡城跡10』昭和61・62年浪岡城発掘調査報告書
- 齋藤健・高桑登 1998 「山形県『東北地方の在地土器・陶磁器』2」東北中世考古学会 第4回大会資料
- 菅原正明 1989 「西日本における瓦器生産の展開」『国立歴史民俗博物館研究報告』第19集
- 佐藤亜聖 1996 「大和における瓦質土器の展開と画期」『中近世土器の基礎研究』XI
- 高桑 登 2003 「奥羽南半における「伊達氏系遺物」の分布について」『研究紀要 創刊号』(財)山形県埋蔵文化財センター
- 水澤幸一 1999 「瓦質土器、その城館的なるもの—北東日本の事例から—」『帝京大学山梨文化財研究所研究報告』第9集
- 山形県教育委員会 1976 『山形県文化財発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財調査報告書第6集
- 山形県教育委員会 1990 『藤島城跡2次発掘調査報告書』山形県埋蔵文化財調査報告書第159集